

平成21年度重点事業について

おかやま酪農業協同組合

I 基本方針

高騰が続いてきた配合飼料価格は本年1月に値下げとなったものの、これまでのコストアップ分を解消するには程遠く、飲用乳価の10円値上げを加味しても、経営は依然として非常に厳しい環境下にあります。

このような環境下でおからく発足8年目を迎え、組合員の負託に応えると共に組織の強化のため、事業の効率化を更に進めて参る所存であります。

事業重点推進目標

1. 生乳生産量 107,000t、購買取扱数量 90,000t、流通取扱頭数 10,000頭を目標として取り組みます。
2. 生乳の安全・安心（ポジティブリスト制）確保に取り組みます。
3. 生産基盤の強化を図ります。
4. 財務の拡充を図ります。

II 各事業の運営方針

1. 生産指導事業

生乳の安全・安心の確保を図るためチェックシート記入励行を推進します。

中国生乳販連による統一検査開始を控え、乳質とくに体細胞数改善指導に努めます。

関係機関の指導を得てカウコンフォート事業を推進し、乳牛の生涯生産性向上を図ります。

稲WCSの普及啓発と低コスト生産技術の開発に努めます。

2. 酪農ヘルパー事業

おかやま酪農ヘルパー利用組合との相互理解の上でヘルパー事業を推進します。

3. 改良登録事業

乳牛の遺伝的改良に取り組み、個体の生涯生産性向上を図ります。

北海道全共に向け、出品対策協議会のもと

候補牛の作出強化に努めます。

4. 診療・受精卵移植事業

繁殖検診を主体とし、繁殖成績の向上と、乳質指導、飼養管理等の指導診療に努めます。

雌判別卵をはじめ、雌雄選別精液使用による採卵事業に取り組みます。

5. 乳牛流通事業

乳用牛並びに肥育牛等の斡旋、販売を円滑に推進します。

搾乳素牛は、750頭以上を計画します。

乳質改善対策及び搾乳牛確保支援事業に取り組み、導入牛の貸付金利補助を行い酪農経営の安定と支援を図ります。

6. 販売事業

中国生乳販連と連携し、5会員共販体制による機能強化を図ります。

中国生乳販連の5県の乳代金のプール化を実施いたします。

7. 購買事業

仕入先の幅広い選択や未利用資源の活用と斡旋により、飼料価格の低減に努めます。

8. 経理

組合財務の健全性を図り、適正な運営に努めます。

9. 特別対策室

組合員の安定的な酪農経営所得の向上を図り経営の健全化に努めます。

10. 経営管理

各事業体制の見直しを行い、経費の節減と業務の効率化を図るよう努めます。

コンプライアンスマニュアル、不祥事対応・防止マニュアルに沿ってコンプライアンス態勢の確立に努めます。